

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun 稲雲

令和6年度 第10号

令和6年9月13日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○見事第3位に入賞しました！

8月29日（木）に、大東コミュニティセンターにおいて、英語弁論大会が開催されました。夏休み中の練習の成果が表れ、3名とも素晴らしい弁論をすることができました。創作の部に出場した9年生が第3位に入賞するなど、素晴らしい成績を残すこともできました。発表が終わった後に「100点のできでした。」「自分はこんなことができるんだという気持ちになりました。」という感想も聞かれ、出場した生徒たち全員が達成感をもつことができていたようでした。帰校後に、夏休み中に練習お世話になった先生方や応援してくれた先生方に対して、しっかりとお礼を述べる姿も立派でした。



○チーム一丸となって力強い走りを見せてくれました

9月5日（木）に、鳥見山公園周辺コースにおいて、令和6年度の支部中学校駅伝競走大会が開催されました。結果は女子が12位、男子が14位でした。当日は、前日までと比べて急に気温が上がって、選手たちには過酷なレースになりました。そんな厳しい状況の中でも、最後まで全力で走り、仲間の思いのこもったタスキを繋ぐ、そして出場できなかった選手たちからは大きな声援が送られるという、「チームとしてのまとまり」を感じることができる素晴らしい大会になりました。



○ふくしま給食ものがたり～キビタンがきた～

「令和6年度ふくしま旬の食材等活用推進事業」に応募したところ、本校の食育に興味をもっていただき、9月6日（金）に稲田学園にキビタンがやってきました。普段から本校の給食には地元の食材がふんだんに使われています。当日も「きくらげ」を使ったお味噌汁や、ふくしまのブルーベリーで作ったゼリーなど、16種類の県産品が使われた、とてもおいしい給食でした。児童は、給食を食べている様子を撮影されたり、インタビューを受けたりしました。キビタンと触れ合う時間もあり、最後は一緒に記念撮影をしました。



○11月9日(土)に向けて 今年もお世話になります

稲田学園松明作り協力会のみなさん、日本工営のみなさん、保護者のみなさんのご協力をいただき、令和6年度の松明作りのための「茅刈り作業」を実施することができました。9年生たちは、作業の説明を受けた後、学校近くの茅のある現場に向かいました。まっすぐに高く伸びた茅を切った後、束ねたり、干すために立てたりする作業は、思った以上に大変でしたが、生徒たちは430年以上に渡って受け継がれてきた伝統行事の継承者として、楽しく、真剣に活動することができました。稲田学園のために、多くの皆様にご協力いただけることに感謝するとともに、作業を通して大切なことを学ぶことができました。



○それぞれの決意を胸に!

9月12日(木)に予定されている岩瀬地区合奏祭、25日(水)・26日(木)に予定されている岩瀬支部新人総合大会に向けて、選手壮行会が行われました。音楽部は、これまでの成長と実績を自信にして、運動部は、新人チームの初陣に臆することなく挑戦する気持ちを胸に、本番に臨んでほしいと思っています。それぞれの部活動の活躍を心から期待しています。平日のコンクールや大会となりますが、保護者や地域の皆様の応援をよろしくお願いいたします。

なお、音楽部はTBCこども音楽コンクール福島地区「重奏の部」で東北大会に出場することが決定しました。なお、東北大会は、11月22日・23日に郡山市で開催されます。

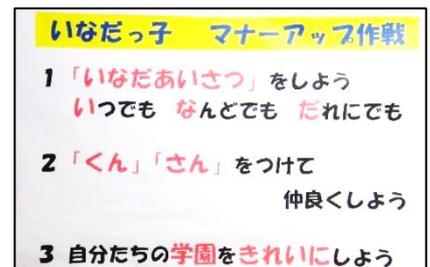


○稲田学園の子どもたちをお願いしていること

1 「いなだあいさつ」を実践してほしい

「い」:「いつでも」、「な」:「なんどでも」、「だ」:「だれにでも」

「いなだっ子 マナーアップ作戦」という掲示物が校内のあちらこちらに貼ってあり、子どもたちが学校生活で意識できるようになっています。毎朝登校指導をしているときに、元気に「おはようございます。」と言われると、やっぱり嬉しいものです。爽やかで、温かい気持ちにもなります。今後も、気持ちのいいあいさつが飛び交う稲田学園になることを目指してまいります。



2 「自分の名前」を大切にしてほしい。

先日の表彰集会の時に、表彰される人の名前が呼ばれました。はっきりとした大きな声の返事、恥ずかしさのためかほとんど声が聞こえない返事もありました。そこで、子どもたちに、家族の願いや思いのこもった自分の名前を大切にしてほしいというお願いをしました。自分の名前が呼ばれたときに、自分の名前に誇りをもち、大きな声で返事をするすることで、名前に込められた家族の願いや思いに応えることになるとも話しました。次の表彰集会が楽しみです。